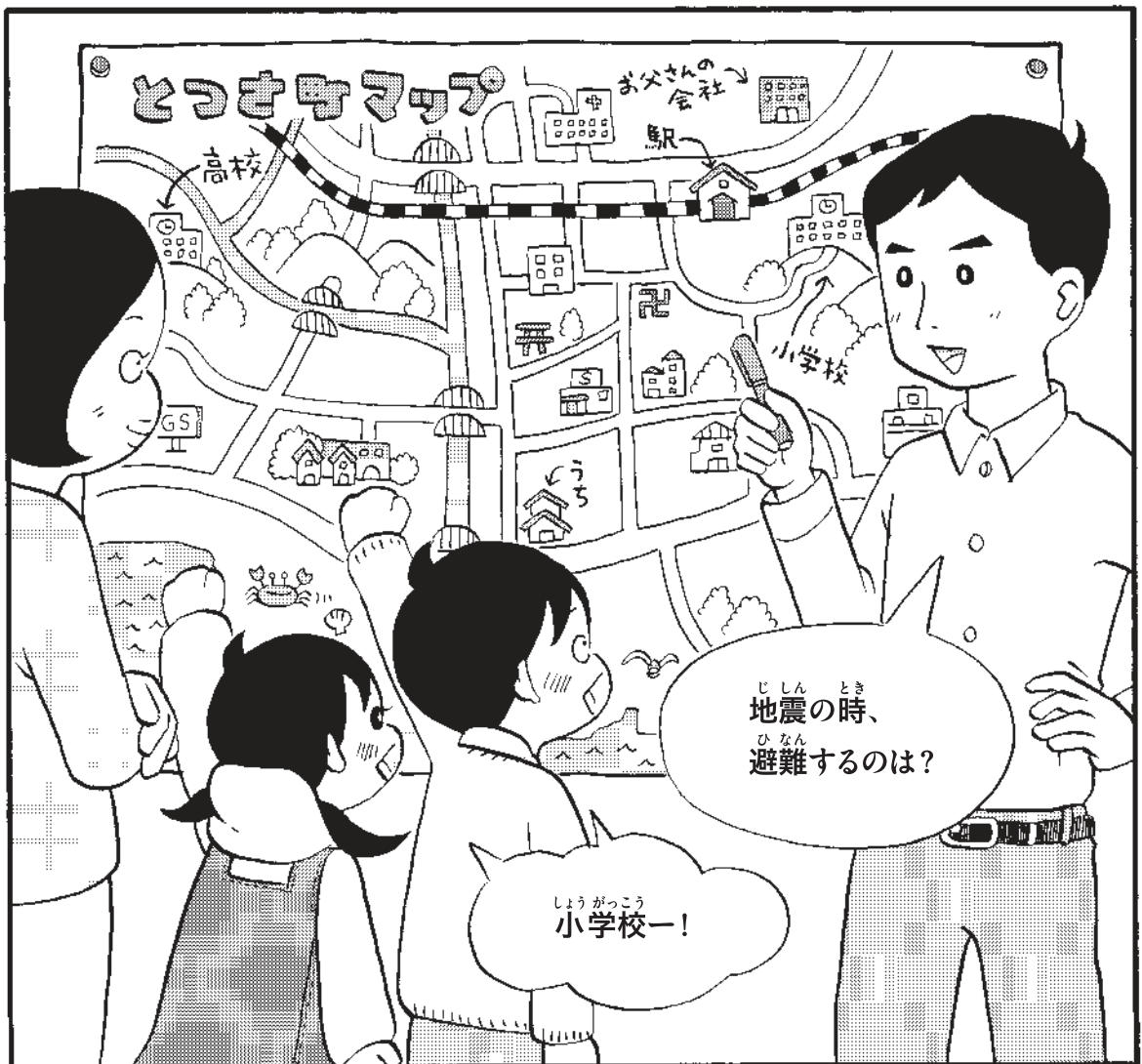




さいがい そな
[災害への備え]

しゅうごうばしょ き
集合場所を決めておく

- ▶ かぞく さが まわ
家族を探し回らなくてもよいようにしておく
- ▶ あんぜん こうどう
安全な行動をとる



集合場所を決めておく

■ 状況シートの説明



▶ 場面ごとの説明

- ① お父さんもお母さんに電話をかけていましたが、通じません。家族のことが心配で、お父さんは家に戻りました。「ただいまー。おーい!みんないるか?」。でも、家には誰もいません。「いない…中学校に避難してるのかな」。
- ② お父さんは、中学校へ向かいました。中学校に到着し、「みなと!みさき!お母さん!」と呼んでみました。でも、「ここにもいない…小学校の方かな」。
- ③ とっさ小学校へ着くと、3人の姿が目に入りました。みなとくんとみさきちゃんが「お父さん!」と叫びながら、駆け寄ってきました。家族がどこにいるかわからず、不安だったお父さんでしたが、「〇〇〇〇〇」

▶ セリフの例 (気持ち)

- 「ここにいたのか」
- 「心配したんだぞ」
- 「無事でよかった」

▶ 発問例

- ・ みなとくんの家族のようにならないためには、どうすればいいですか?
- ・ 避難しなければならない時に備えて、家族でどんなことを決めておくといいいですか?

■ 教訓シートの説明



▶ 家族を探し回らなくてもよいようにしておく

- ・ 災害時には電話やメールなどが、つながりにくくなります。
- ・ 災害時に家族が集まる場所を決めておくと、「あそこにいる」と安心できます。

▶ 安全な行動をとる

- ・ 落ち着いて行動することが、とても大切です。あわてず、すぐにその場所へ向かいましょう。

■ 東日本大震災の教訓

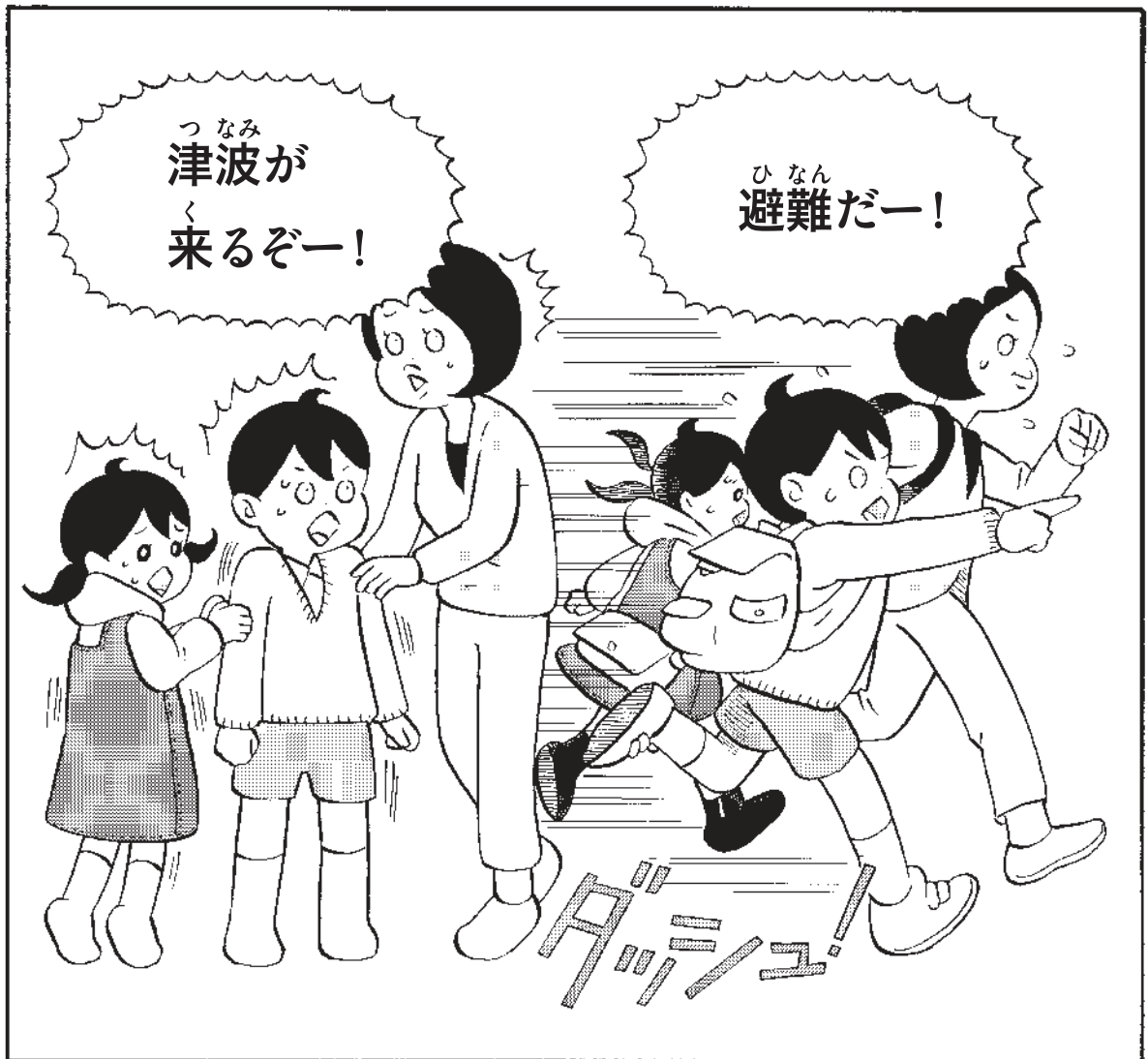
家族の居場所がわからないため、危険な状況の中、何日もあちこちの避難所を回って家族を探した人がたくさんいました。



[地震後、津波が起こったら]

すぐに避難する

- ▶ 津波警報が出たらできるだけ早く避難する
- ▶ 津波の心配があれば避難を始める



すぐに避難する

■ 状況シートの説明



▶ 場面ごとの説明

- ① 「津波が来るぞ!」「早く逃げないと危ないぞ!」。窓の外では、近所の人が急いで避難しています。
- ② 家の中では、「大事な食器、割れちゃった」と、お母さんは割れた食器を片付けています。
- ③ 津波警報のサイレンが「ウーウー」と鳴り響いています。お母さんは、まだ「片付けなきゃ」と言っています。焦っているみなとくんはお母さんに、「○○○○」

▶ セリフの例 (行動)

- 「早く避難しないと」
 「津波警報が鳴っているよ」
 「何しているの、早く」

▶ 発問例

- ・津波警報のサイレンが鳴ったら、どうしますか?
- ・みなとくんは、なぜ避難しないといけないと思ったのでしょうか?
- ・津波警報のサイレン以外にも、どんな時に避難しなければいけませんか?

■ 教訓シートの説明



▶ 津波警報が出たらできるだけ早く避難する

- ・地震が起こった後、津波警報が発令されたら、非常持ち出し袋を持ってすぐに避難しましょう。
- ・あわてていても、冬はコートやジャケットを着て、暖かい服装で避難しましょう。

▶ 津波の心配があれば避難を始める

- ・津波警報がなくても、警報が出たことを知らなくても、地震が起こって津波の心配がある時は、できるだけ早く避難を始めることが大切です。
- ・次のような場合に、津波が来る恐れがあります。
 - » 揺れが大きく長く続いた (マグニチュード 6.5 以上)
 - » 震源が海で、その深さが 10 ~ 30km 程度と浅い
 - » 避難している人がいる
 - » 海や川で水が引いていくのが見えた
 - » 海から水が上がってくるのが見えた

■ 東日本大震災の教訓

津波から逃れた人の中には、「津波はひたひたとくる」「ちよろちよると出てきた」「すぐに水が来たわけではなく、徐々に上がってきた」と、気が付いたら津波が身近に押し寄せていたと話す人もいます。そうなる前に、「物資は数日経てば必ず手に入るので、身ひとつでもまずは避難する」ことが大切です。